

なんば広場 幹事会議事メモ

日時： 2025年11月21日(金)13:00~14:00

場所： 準備委員会事務所（河原センタービル）

参加： 戎橋筋商店街 菊地氏、青木氏、山本氏

なんさん通り商店会 木本氏、菊澤氏

高島屋 井原氏、藤原氏

なんばマルイ 田中氏

南海電鉄 寺田氏、駒田氏、大前氏

Cyujō 佐藤氏、吉田氏

HBP 岸本氏、福井(記)

※議題4のみロータリークラブ関係者が参加

千田氏(千田硝子食器)、林氏(合同衛生)、山川氏(東邦宣伝)、藪内氏(やぶ内時計舗)

1. 今週の論点

(1) 【報告・審議】 デジタルサイネージ・静止画等の検証結果について

(岸本氏より資料のとおり説明)

○検証結果について

- ・本資料は、検証結果の第一稿として大阪市へ提出したものである。
- ・通行者へ及びドライバーへの影響を確認するため、計3種類の調査を実施した。
 - －調査1：デジタルサイネージの設置に起因する課題等調査
 - －方法：設置に起因する事故等の発生の有無の取りまとめ、課題等を整理。
 - －結果：設置に起因する事故・課題は発生していない。
 - －調査2：通行者アンケート調査
 - －方法：①現地でアンケートQRコードを配布、②地域関係者へWEBアンケートを送付。
 - －結果：デジタルサイネージの設置は通行に支障がなく、明るさは適切である。周辺景観に大きな影響を及ぼしていない。(回答総数120票)
 - －調査3：車両からの視認性調査
 - －方法：御堂筋、なんさん南北(中間地点)において、調査員がドライバーの目線の高さからデジタルサイネージの見え方を確認。
 - －結果：両地点ともデジタルサイネージはほとんど視認されず、車両通行への影響はない。
- ・以上の調査結果より、デジタルサイネージでの静止画等の放映について大きな問題がないことが確認できたため、通常速度での動画放映検証を早急に実施したい旨を大阪市に要望を行った。

○通常速度の動画放映検証について

- ・早ければ12/8(月)、現実的には12/15(月)より検証が開始できる見込みである。
- ・大阪市より、通常速度の動画放映についても通行者アンケートを実施するよう指示があり、平日・休日・イベント時で各300票の回収が求められている。また、ドライバーへのアンケート調査も追加で実施するよう要請されている。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・通常速度の動画放映検証後は、静止画等のみの放映となる。通常速度の動画放映の検証結果を大阪市へ提出

し、屋外広告物審議会での許可を得られたら、通常速度での動画放映が可能となる。(質問：寺田氏、回答：岸本氏)

- ・検証期間中とはいえ、年末に動画を流せる機会を逃したくないため、キャンペーンとして通常速度での放映を実施したい。大手企業は動画素材を保有しているため、広告獲得も期待できる。(佐藤氏)
 - ・占用指針では動画の検証・放映については記載がある一方、音に関する記載はないため、通常速度での放映が可能となった後、音の検証実施可否を大阪市へ協議する必要がある。(質問：井原氏、回答：岸本氏)
 - ・周辺デジタルサイネージとの音調整を行う場合、民間3媒体間(東宝、エディオン、準備委員会)での民間同士での調整が必要となる。(質問：寺田氏、回答：岸本氏)
- 駅前デジタルサイネージガイドラインでは、地域内での音量調整に関する記載はなかった。(藤原氏)
- 大阪府の拡声器に関するルールで「拡声機の1回の使用時間は10分以内とし、1回につき10分以上、休止しなければならない」とされており、現在は東宝とエディオンが民間同士の調整のうえ、10分交代で音を出している状況である。(岸本氏)
- ・音の検証については、2026年度中の開始を目指すスケジュール感である。(質問：寺田氏、回答：岸本氏)

(2) 【報告】 バナー広告の販売フローについて

(佐藤氏より資料のとおり説明)

- ・御堂筋側の3本については、御堂筋のルールが適用されるため、他の10本とは切り離し、オプション枠として販売する。
- ・その上で、残り全10本・20枚を大型フラッグ広告として整理し、200万円/4週間で販売を開始する。
- ・販売フローについては、大阪市との調整の結果、屋外広告物審議会、道路占用許可、道路使用許可の手続きを同時並行で実施できることとなり、締切は9週間前(約2.5か月前)とする。
- ・利益は、媒体単価(200万円・税別)から代理店マージン(40万円)、制作・取付・撤去費(100万円)を差し引いた60万円となり、この利益を準備委員会とCujo=4:6で分配する。(準備委員会24万、Cujo36万)
- ・連続する4週間で掲出がある場合、取付と撤去作業が重複するため、約30万円の追加利益が見込まれる。
- ・利益配分については、強風時に自主撤去が必要となることから、Cujoの負担を考慮し、同社の取り分を多めに設定している。

(岸本氏より口頭にて補足)

- ・オプションである御堂筋側3本については、申請手続きが1つ増加するため、掲出までの手続き期間が長くなる。実施方法については現在確認中であり、オプションに関する手続きも整理でき次第、報告する。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・御堂筋沿いと広場のルールの違いは何か。(菊地氏)
- 明文化はされていないものの、御堂筋では人物の顔の掲出や赤色の使用が却下された事例がある。(岸本氏)
- ・フラッグの持ち込みについては、トラブル発生時の責任の所在を明確にする必要があるため、持ち込み不可とした。(質問：木本氏、回答：佐藤氏)

(3) 【報告】 イルミネーション関連イベント・プロモーションについて(幹事南海より)

(大前氏より資料のとおり説明)

- ・11/23(日)~12/25(木) イルミネーション点灯期間
- ・11/28(金)~12/25(木)の週末・計15日 1日3ステージの音楽コンサートを実施 ※雨天中止
- ・12/25(木)14:00~15:00 大阪市音楽団によるコンサートを実施 ※雨天中止

(4) 【共有】なんばロータリークラブからの依頼事項について

(山川氏より資料を用いて説明)

- ・来年度のロータリークラブ創立 50 周年を記念し、広場への時計設置を希望している。
- ・当初は大阪市への寄贈を想定していたが、一般団体からの寄贈は不可であったため、大阪市より「ロータリークラブから準備委員会への寄贈であれば設置可能」との回答を受領した。
- ・設置希望時期は 2026 年 4 月頃で、4 月 10 日の 50 周年式典までに設置したい。
- ・設置場所は、現在大阪市と協議中である。
- ・設置後のメンテナンス費用は、準備委員会と相談の上決定したい。
- ・デザインはシンボリックなものを想定しているが、広場全体との整合性を確保するため、E-Design(以下、ED)の監修を受けたうえでデザインを決定したい。
- ・時計は電源不要のソーラーパネル搭載型で、電波により自動時刻修正が可能なタイプを使用する。

(寺田氏より口頭にて補足)

- ・市への寄贈が不可のため、準備委員会が寄贈を受け、設置主体となる。
- ・地下に埋設物が多いため、試掘を行ったうえで設置する必要がある。
- ・設置位置は計画調整局と協議中であり、市内手続きや警察対応についても順次確認中である。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

○設置場所について

- ・試掘が必要なため、テラスベンチ南側の植木 2 カ所のうち、いずれかの撤去を検討したい。(千田氏)
- ロータリークラブ希望の原案と植木の幅が合致するかは確認が必要である。(質問：寺田氏、回答：山川氏)

○デザインについて

- ・ED の監修により、原案から大幅にデザインが変更となる可能性はあるか。(菊地氏)
- これから ED に確認いただく。原案は、日本街路灯製造株式会社にロータリークラブの意向を踏まえて作成いただいたもので、可能であれば原案に沿って進めたい。製作期間を考慮すると、早急に進行する必要がある。(山川氏)
- 広場のデザインは、安まち協と合意を得て整備した経緯がある。4 月に間に合うよう協力するが、広場のデザインコンセプトとの整合性が必要であり、安まち協の意見も確認する必要がある。(菊地氏)
- デザインコンセプトは、シビックプライド・地域の誇りの再発見／まちへの愛着醸成／公共空間の価値向上／未来への承継の 4 つの柱である。当初は時計単体の寄贈案だったが、なんばのアイデンティティが必要との判断から、「I LOVE NAMBA」を取り入れたモニュメントデザインに発展した。(山川氏)
- 一旦 ED に監修してもらい、準備委員会、協議会として意見することとする。(菊地氏)
- ・原案の「I LOVE NAMBA」について、「I」ではなく「We」とすべき。(井原氏)

○所有権について

- ・寄贈後の所有権は準備委員会となる。(質問：菊地氏／回答：寺田氏)
- ただし、準備委員会による広場運営は 2029 年以降未確定であるため、その後の扱い（撤去、継承等）については今後明確にする必要がある。(寺田氏)
- ・時計の故障対応等も含め、ロータリークラブとの覚書締結が必要となる可能性がある。(寺田氏)

○その他

- ・構造物の設置であるため、建設局・警察ともにハードルは高いと想定される。デザインについては ED に期待しているが、事業自体には賛成である。(木本氏)

(結論)

決定事項：時計の設置に係る経費は、ロータリークラブの負担となり、デザイン設計及び設置場所について、まずは E-Design の判断を確認する。

(5) その他

①まいど！グレーターなんばについて

(大前氏より配布資料のとおり説明)

- ・南海電鉄の事業として広場を起点としたエリア周遊マップと、エリアで活躍するプレイヤーへの取材記事を掲載した冊子を作成している。
- ・12/4(木)の完成予定である。

(寺田氏より口頭にて補足)

- ・なんばエリア全体の価値向上を目的とし、Instagram とは別のアナログ媒体として作成している。
- ・今回は京都のフリーマガジン制作会社「ハンケイ 500m」との共同制作であるが、将来的には南海電鉄単体で制作できるよう、まちの方々との関係構築を図る目的で南海電鉄スタッフがインタビューに同行している。

②樹木ベンチの照明の破損事案について

(大前氏より口頭にて説明)

- ・11/19(水)正午頃、テラスベンチの樹木を照らすスポットライト照明が、スケートボード滑走者との接触により破損した。
- ・現在は、漏電防止のため照明をビニールで覆い、周囲をカラーコーンで囲い対応している。
- ・当該照明の所有権は不明確であるため、大阪市へ確認中である。修繕費の負担については、今後協議する。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・警察へ被害届を提出、防犯カメラで犯人を特定し、損害賠償請求すべきである。(菊澤氏)
- ・防犯カメラ映像から当該人物の特定は可能か。(山本氏)

→複数の防犯カメラ映像を組み合わせれば、特定できる可能性がある。(駒田氏)

→いずれにせよ、被害届は提出すべきである。(山本氏)

(結論)

決定事項：照明の破損事案について、大阪市等と協議するほか、警察へ被害届を提出する。

③大阪中心とのデジタルサイネージ連携について

(藤原氏より口頭に提案)

- ・デジタルサイネージで放映する公共情報について、大阪中心（大阪市中心部地域情報サイト）の情報を活用し、公共情報として放映することを提案する。同サイトは良質かつ膨大な情報を有しているため、連携により効率的な素材確保が期待できる。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・小西氏(サイバークラフト)を Cyujo へ紹介するので、両者間で金額面も含め、公共情報として活用可能かどうかを調整してほしい。(藤原氏)

→承知した。(佐藤氏)

2. 広場のイベント予定

状況	実施日	イベント名	主催
実施中	11/17(月)～11/30(日)	区域②：机・椅子設置	—
協議済 ※一部 未協議	11/23(日)～12/25(木) 【点灯式】 11/23(日) ※非公表 【MUSIC LOUNGE (ミニコンサート)】 計：15日間 11/28(金)-30(日)、12/5(土)-6(日)、12/12(金)-14(日)、 12/19(金)-25(木) 【サンタチャリティ】 12/7(日) ※あかるクラブ主催 【まちかどコンチェルト (大阪市音楽団)】 12/25(木)	広場イルミネーション・イベント	準備委員会など
未協議	12/25(木)～28(日)	区域②：超特急映画公開&ライブツアープロモ	なんばマルイ
協議中	12/28(日)	JRA 啓発イベント	JRA
-	1/10(土)	宝恵箏行列	宝恵箏振興会
未協議	1/24(土)・25(日)	大阪ユニークもん博覧会	大阪府中小企業団体中央会
未協議	3/27(金)・28(土)	企業見本市(DDFes)	大阪商工会議所

○区域②：超特急映画公開&ライブツアープロモについて

(田中氏より口頭にて説明)

- ・超特急の大阪城ホールコンサートに併せ、衣装やパネル、小型モニター等の設置を行う。
- ・まちとしても超特急を応援していることを発信する。
- ・7Fの屋内会場への誘導を目的としているため、区域②で長時間の滞留が発生するものではない。

○有馬記念関連イベント

- ・ギャンブル性を排し、馬との触れ合いを前面に出した内容で実施する方針である。(質問：青木氏、回答：寺田氏)
- ・ロイヤルファミリーとの連携の可能性について、JRAとの協議で確認する。(質問：木本氏、回答：寺田氏)
- ・「有馬記念関連イベント」ではなく、「JRA 啓発イベント」とすべき。(藤原氏)

3. 今後の日程

- ・12/5(金) 11:00～12:00 委員会
- ・12/5(金) 13:00～15:00 幹事会
- ・12/19(金) 13:00～15:00 幹事会
- ・1/9(金) 13:00～15:00 幹事会
- ・1/23(金) 13:00～15:00 幹事会

以上